

安全データシート

ヒドロキシルアミン

改訂日: 2024-05-09 版番号: 1

1. 化学品及び会社情報

製品識別子

製品名	: ヒドロキシルアミン
CB番号	: CB3345090
CAS	: 7803-49-8
同義語	: ヒドロキシルアミン

物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途	: 医薬・農薬原料、還元剤、CNO分析、タバコ甘味剤、酸化防止剤及び安定剤
推奨されない用途	: なし

会社ID

会社名	: Chemicalbook
住所	: 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟
電話	: 400-158-6606

2. 危険有害性の要約

GHS分類

分類実施日

2007/3/15 (環境に対する有害性についてはH18.3.31)、GHS分類マニュアル(H18.2.10版)

物理化学的危険性

火薬類 区分外
可燃性・引火性ガス 分類対象外
可燃性・引火性エアゾール 分類対象外
支燃性・酸化性ガス類 分類対象外
高圧ガス 分類対象外
引火性液体 分類対象外
可燃性固体 区分外
自己反応性化学品 区分外
自然発火性液体 分類対象外
自然発火性固体 区分外
自己発熱性化学品 区分外
水反応可燃性化学品 分類対象外
酸化性液体 分類対象外

酸化性固体 分類できない

有機過氧化物 分類対象外

金属腐食性物質 分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口) 分類できない

急性毒性(経皮) 分類できない

急性毒性(吸入:ガス) 分類対象外

急性毒性(吸入:蒸気) 分類できない

急性毒性(吸入:粉じん) 分類できない

急性毒性(吸入:ミスト) 分類対象外

皮膚腐食性・刺激性 区分2

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分1

呼吸器感作性 分類できない

皮膚感作性 区分1

生殖細胞変異原性 分類できない

発がん性 分類できない

生殖毒性 分類できない

特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) 区分2(血液 神経系)

特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露) 区分3(気道刺激性)

特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露) 区分2(血液 肝臓 神経系)

吸引性呼吸器有害性 分類できない

環境に対する有害性

水生環境急性有害性 分類できない

水生環境慢性有害性 分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル

GHS02	GHS05	GHS07	GHS08	GHS09

注意喚起語

危険

危険有害性情報

皮膚刺激

重篤な眼の損傷

アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ

血液、神経系の障害のおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

長期又は反復ばく露による肝臓、血液、神経系の障害のおそれ

注意書き

【安全対策】

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。

適切な保護手袋を着用すること。

適切な保護眼鏡、保護面を着用すること。

粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

【応急措置】

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。

汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

吸入した場合、気分が悪い時は医師に連絡すること。

吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

皮膚に付着した場合、汚染された衣類を脱ぐこと。

眼に入った場合、直ちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合、皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

ばく露した時、又は気分が悪い時は、医師に連絡すること。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

【保管】

施錠して保管すること。

容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学名又は一般名	: ヒドロキシルアミン
別名	: ヒドロキシアミン (Hydroxylamine)
分子式(分子量)	: H3NO(33.03)
CAS番号:	: 7803-49-8
官報公示整理番号(化審法・安衛法)	: (1)-375
分類に寄与する不純物及び安定化添加	: データなし
純度又は濃度範囲	: 1

4. 応急措置

吸入した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

多量の水と石鹼で洗うこと。

汚染された衣類を脱ぐこと。

皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

目に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

直ちに医師に連絡すること。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

予想される急性症状及び遅発性症状

吸入:紫色(チアノーゼ)の唇や爪、紫色(チアノーゼ)の皮膚、咳、めまい、頭痛、咽頭痛、脱力感。

皮膚:発赤、痛み。

眼:発赤、痛み、重度の熱傷。

経口摂取:吐き気、息切れ、嘔吐。

最も重要な兆候及び症状

データなし

応急措置をする者の保護

データなし

医師に対する特別注意事項

吐き気、嘔吐、チアノーゼの症状は数時間経過するまで現れない。

この物質により中毒を起こした場合は、特別の処置が必要である。指示のもとに適切な手段をとれるようにしておく。

血液に影響を与え、メトヘモグロビンを生成することがあり、それに伴う貧血を生じることがある。

5. 火災時の措置

消火剤

水噴霧、泡消火剤、乾燥砂類

使ってはならない消火剤

棒状放水、炭酸ガス、粉末消火剤、ハロゲン化物

特有の危険有害性

火災によって刺激性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。

熱で容器が爆発するおそれがある。

70℃以上に加熱、あるいは裸火にふれると爆発することがある。

室温で、とくに湿気、二酸化炭素の存在下で急速に、また加熱すると激しく分解し、窒素酸化物を含む有毒なヒュームを生じる。

酸化剤、微細亜鉛のような金属、ある種の金属酸化物、硫酸銅(II)、リン塩化物と激しく反応し、火災および爆発の危険をもたらす。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火活動は、有効に行える最も遠い距離から、無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。

消火が不可能なら、周辺を防護してそのまま無くなるまで燃焼させる。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外の立入りを禁止する。

密閉された場所は換気する。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。

回収・中和

漏洩物を掃き集めて密閉できる空容器に回収し、後で廃棄処理する。

封じ込め及び浄化方法・機材

水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。

二次災害の防止策

すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気

『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取扱い注意事項

周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

取扱い後はよく手を洗うこと。

皮膚との接触を避けること。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

粉じん、蒸気、スプレーの吸入をしないこと。

眼に入れないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

接触回避

『10.安定性及び反応性』を参照。

保管

技術的対策

特別な換気要求事項はない。

混触危険物質

『10.安定性及び反応性』を参照。

保管条件

容器を密閉して冷乾所にて保存すること。

換気の良いところで保管すること。

施錠して保管すること。

容器包装材料

データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

未設定

許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

日本産衛学会(2007年版)

未設定

ACGIH(2007年版)

未設定

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

特別な換気要求事項はない。

保護具

呼吸器の保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具

適切な保護手袋を着用すること。

眼の保護具

適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用すること。

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

9. 物理的及び化学的性質

Information on basic physicochemical properties

形状 針状晶あるいは薄片

色 白色

臭い データなし

pH データなし

33℃ : NITE総合検索 (Access on Sep. 2008)

58℃ (22mmHg) : NITE総合検索 (Access on Sep. 2008)

129℃ (爆発): NITE総合検索 (Access on Sep. 2008)

265℃ : NITE総合検索 (Access on Sep. 2008)

データなし

不燃性(ただし129℃で爆発する) : NFPA (13th, 2002)

9.75mmHg (47℃) : NITE総合検索 (Access on Sep. 2008)

1.1(air=1)(計算値) : ICSC (Access on Sep. 2008)

20℃での蒸気/空気混合気体の相対密度(空気=1):1.00(計算値) : ICSC (Access on Sep. 2008)

データなし

1.204g/cm³ (40℃,4℃) : NITE総合検索 (Access on Sep. 2008)

水 : 1E-006mg/L (25℃) (推定値): PHYSPROP Database (Access on Sep. 2008)

log Pow=-1.5 : NITE総合検索 (Access on Sep. 2008)

沸点以下70℃で分解する : ICSC (Access on Sep. 2008)

データなし

データなし

データなし

データなし

融点・凝固点

33℃ : NITE総合検索 (Access on Sep. 2008)

沸点、初留点及び沸騰範囲

58℃ (22mmHg) : NITE総合検索 (Access on Sep. 2008)

引火点

129℃ (爆発): NITE総合検索 (Access on Sep. 2008)

自然発火温度

265℃ : NITE総合検索 (Access on Sep. 2008)

燃焼性(固体、ガス)

データなし

爆発範囲

不燃性(ただし129℃で爆発する) : NFPA (13th, 2002)

蒸気圧

9.75mmHg (47℃) : NITE総合検索 (Access on Sep. 2008)

蒸気密度

1.1(air=1)(計算値) : ICSC (Access on Sep. 2008)

20℃での蒸気/空気混合気体の相対密度(空気=1):1.00(計算値) : ICSC (Access on Sep. 2008)

蒸発速度(酢酸ブチル=1)

データなし

比重(密度)

1.204g/cm³ (40℃,4℃) : NITE総合検索 (Access on Sep. 2008)

溶解度

水 : 1E-006mg/L (25℃) (推定値) : PHYSPROP Database (Access on Sep. 2008)

オクタノール・水分配係数

log Pow=-1.5 : NITE総合検索 (Access on Sep. 2008)

分解温度

沸点以下70℃で分解する : ICSC (Access on Sep. 2008)

粘度

データなし

粉じん爆発下限濃度

データなし

最小発火エネルギー

データなし

体積抵抗率(導電率)

データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる

危険有害反応可能性

70℃以上に加熱、あるいは裸火にふれると爆発することがある。

室温で、とくに湿気、二酸化炭素の存在下で急速に、また加熱すると激しく分解し、窒素酸化物を含む有毒なヒュームを生じる。
酸化剤、微細亜鉛のような金属、ある種の金属酸化物、硫酸銅(II)、リン塩化物と激しく反応し、火災および爆発の危険をもたらす。

避けるべき条件

70℃以上に加熱、あるいは裸火にふれる。

室温で、とくに湿気、二酸化炭素の存在下で急速に、また加熱。

混触危険物質

酸化剤、微細亜鉛のような金属、ある種の金属酸化物、硫酸銅(II)、リン塩化物。

危険有害な分解生成物

窒素酸化物を含む有毒なヒューム。

11. 有害性情報

急性毒性

経口

データなし

経皮

データなし

吸入

吸入(ガス): GHSの定義における固体。

吸入(蒸気): データなし

吸入(粉じん): データなし

皮膚腐食性・刺激性

Priority 2において皮膚への刺激を示す記述(発赤、痛み。皮膚を刺激する)があること(ICSC(1995), SITTIG(4th, 2002))、およびEUリスク警句がR37/38であることから区分2とした。

眼に対する重篤な損傷・刺激性

Priority 2において、人の眼に対して「腐食性を示す」との記述がある(ICSC(1995), SITTIG(4th, 2002))こと、およびEUリスク警句でR41であることから区分1とした。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性:データなし 皮膚感作性:Priority 2における「反復または長期の接触により、皮膚が感作されることがある」との記述(ICSC(1995), SITTIG(4th, 2002))に加え、EUリスク警句がR43であり、また、ドイツMAKリストのSensitization物質(Sh)であることから区分1とした。

生殖細胞変異原性

データ不足のため分類できない。

発がん性

データなし

生殖毒性

データなし

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性

データ不足のため分類できない。

水生環境慢性有害性

データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報

該当しない

航空規制情報

該当しない

UNNo.

該当しない

国内規制

陸上規制情報

毒劇法の規制に従う。

消防法の規制に従う。

海上規制情報

船舶安全法の規制に従う。

航空規制情報

航空法の規制に従う。

特別安全対策

重量物を上積みしない。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

移送時にイエローカードの保持が必要。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

15. 適用法令

労働安全衛生法

労働安全衛生規則第328条の5(ヒドロキシルアミン等の製造等)

毒物及び劇物取締法

劇物(法第2条別表第2)(法令番号:2-69)

劇物(指定令第2条)(法令番号:81)

大気汚染防止法

有害大気汚染物質 法第2条第13項(中央環境審議会答申、1996.10.18)

消防法

第5類自己反応性物質、ヒドロキシルアミン(法第2条第7項危険物別表第1・第5類)

船舶安全法

腐食性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)

航空法

腐食性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)

港則法

危険物・腐食性物質(法第21条2、則第12条、昭和54告示547別表二ロ)

化審法

優先評価化学物質

16. その他の情報

略語と頭字語

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

EC50: 有効濃度 50%

IATA: 国際航空運送協会

IMDG: 国際海上危険物

LC50: 致死濃度 50%

LD50: 致死量 50%

RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規則

STEL: 短期暴露限度

TWA: 時間加重平均

参考文献

- 【1】労働安全衛生法 ウェブサイト <https://www.mhlw.go.jp>
- 【2】化学物質審査規制法(化審法)<https://www.env.go.jp>
- 【3】化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) <https://www.chemicoco.env.go.jp>
- 【4】NITE化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIP)<https://www.nite.go.jp/>
- 【5】カメオケミカルズ公式サイト <http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple>
- 【6】ChemIDplus、ウェブサイト <http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp>
- 【7】ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト <https://echa.europa.eu/>
- 【8】eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイト <http://www.echemportal.org/echemportal/index?>
<http://www.echemportal.org/echemportal/index?>
pageID=0&request_locale=en
- 【9】ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイト <http://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg>
- 【10】有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイト <http://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp>
- 【11】HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト <https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm>
- 【12】IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト <http://www.iarc.fr/>
- 【13】IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイト <http://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home>
- 【14】Sigma-Aldrich、ウェブサイト <https://www.sigmaaldrich.com/>

免責事項:

本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本SDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。